



# りそな銀行アジアニュース

2025年3月10日  
りそな銀行 国際事業部

【上海駐在員事務所】

## 「マクロプルーデンスモデルに関する外債枠の拡大」

中国人民銀行及び外貨管理局は、企業及び金融機関のオフショア資金調達を拡大し資産・負債構成の最適化を誘導することを目的に、クロスボーダー融資マクロプルーデンス調節係数の調整(2025年1月13日実施)を通知しました。これに伴い、クロスボーダー融資(外債)限度額の計算に用いられるマクロプルーデンス調節係数が従来の1.5から1.75に調整され、企業の外債限度額は従来の純資産額(直近の監査報告書基準)の3倍から3.5倍に拡大されることとなります(2023年7月に続く同係数の調整)。

### A. クロスボーダー融資リスク加重残高限度額(外債限度額)の計算方法(下線部が今回の変更点)

	純資産額 資本金	×	レバレッジ率	×	マクロプルーデンス 調節係数	=	クロスボーダー融資 リスク加重残高限度額
企業	純資産		2.0		<u>1.75</u> (従来:1.5)		<u>純資産の3.5倍</u> (従来:純資産の3倍)
ノンバンク	資本	×	1.0	×			資本の <u>1.75倍</u> (従来:資本の1.5倍)
銀行	一級資本		0.8				一級資本の <u>1.4倍</u> (従来:一級資本の1.2倍)

### B. クロスボーダー融資リスク加重残高管理に関する因数及び計算方法(今回は変更なし)

リスク因数	区分	数値
期限リスク転換因数(…①)	中長期融資(1年超過)	1.0
	短期融資(1年以下)	1.5
類別リスク転換因数(…②)	オンバランス融資	1.0
	オフバランス融資	1.0
為替リスク転換因数(…③)	外貨建て	0.5

【クロスボーダー融資リスク加重残高】 =

(人民元(RMB)・外貨クロスボーダー融資 × ① × ②) + (外貨クロスボーダー融資残高 × ③)

#### ■マクロプルーデンスモデル外債限度額及び残高管理の計算例: 純資産額100 借入金200の企業の場合

- ・外債限度額(A):  $100 \times 2.0 \times 1.75 = 350$  (上限金額)
- ・残高管理(B): RMB・中長期の場合:  $200 \times ①1.0 \times ②1.0 = 200 < 350 \Rightarrow$  上限範囲内  
RMB・短期の場合:  $200 \times ①1.5 \times ②1.0 = 300 < 350 \Rightarrow$  上限範囲内  
外貨・中長期の場合:  $200 \times ①1.0 \times ②1.0 + 200 \times ③0.5 = 300 < 350 \Rightarrow$  上限範囲内  
外貨・短期の場合:  $200 \times ①1.5 \times ②1.0 + 200 \times ③0.5 = 400 > 350 \Rightarrow$  上限超過

【出所:外貨管理局】

照会先: 国際事業部 (東京)電話 03-6704-3337  
(大阪)電話 06-6268-1907

当資料は海外進出をされている日系企業のお客さまのために、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいますようお願い致します。 \*禁無断転載